

代表質問

から

[原稿は質問者が作成し、文責は本人にあるものとして、質問・答弁の要旨を掲載しました。]

平成19年度に向けて、市長の市政執行方針、教育長の教育行政執行方針に対し、各会派・政党の代表質問を行いました。

民主クラブ
市民連合
正風クラブ
日本共産党

菊地 敏紀
横山久仁雄
上田 勉
佐々木 優

議員
議員
議員
議員



菊地 敏紀
(民主クラブ)

市民対話と情報開示を

問 ①市長は指針を策定し、

基本的な方向性を示して情報

開示を行い、リーダーとして

責任を明確にして市民対話を

進めるべきでは。②情報の内

部共有はどこまでされ、どの

様に周知され活用されている

のか。③問題点や課題の処理、

市民への周知の方法は。

答 ①総合計画があり、この

実現のため基本計画を推進し

ている。②会議、打ち合わせ

等により、また、全庁的には、

LANシステムの活用により

共有活用されている。③基本

的には、その場で回答するよ

う努めている。

財政健全化と 行政改革の推進は

て。

答 ①市民の視点に立つた発想と行動が行き、市民と合意形成する事ができる職員の意識改革は重要であり助長に務める。②将来に向けた課題に対応し、事業の具体的な取捨選択が必要になるものと判断している。計画は7年間とし、年次毎に計画を策定する予定である。

答 ②住民を前提とした制度で、条例の制定改廃、規約変更の直接請求が可能で、住民の意思が反映できる。

【その他、総合計画、教育執行方針など6項目について質問。】

農村観光都市形成の方向性

問 ①具体的に誰がこの事業を担うのか。②地域農業のあり方からも、地域を特化した

体制作りが必要で、農業と観光の連携による起業ビジネス

が必要ではないか。

答 農業を軸として都市との交流を推進し、持続可能な観光を目指す。推進は、これに携わる人々及び関係団体と連携して行っていく。

富良野広域連合の考え方は

問 ①広域連合を推進するにあたっての基本的な考え方と、何を重視して推進を図るのか。

答 ①権限委譲の受け皿とな

れる制度であり、地方分権を推進できる具体的の方策である。



横山久仁雄
(市民連合)

格差拡大社会の市長の認識と対応策は

問 政府がこれまで進めてきた行財政改革、構造改革、規

制緩和によって地域間、産業間、企業間、職業や職種間など、市民生活のあらゆる場面

で深刻な格差の拡大が進行している。富と貧困が両極に分化する社会構造になりつつある。市長の格差に対する認識

どのようになるのか

問 5月に地域センター病院が移転先でオープンとなるが、医師や看護師不足が心配される社会情勢である。「地域の医療ニーズに沿った医療体制の確保に努める」とあるが、その具体的取り組みは。

答 医療に対するニーズは複雑・多様化している。開院を

前に医師確保が難しい状況にあつたが、29名の医師が確保される見通しとなつた。住民ニーズに沿った体制が整つた。今後も引き続き医師確保に向

依存度が高く産業基盤が弱いため、景気回復から取り残されている。雇用対策が一番求められている。市内企業の振興を図り地域資源を生かし

た農畜産物などの新商品、商工会議所、農協、起業者と連携した事業展開を支援する。